【ワークシート１】

・課業とは？

一つの職務はいくつかの課業で構成されています。その課業とは、明確な目的を持つ、「まとまりのある仕事」のことで、職業全体を次のような体系で表すことができます。

課業＜職務＜職業

課業（task）	要素作業のまとまったもので作業遂行上のステップ
職務（job）	特徴的な課業と責任が同一の職位をとりまとめたもの
職業（occupation）	企業、事業所の枠を越えて、一定の類似性からまとめた一群の職務 人の役割としての職務を vocation と呼ぶ。

・・・

■作業１　グループワーク：以下の職業群から職業をひとつ選ぶ。

①	商社営業部員	②	銀行員(窓口係)	③	経理事務	④	建築技術者
⑤	システムエンジニア（ソフトウエア開発）	⑥	気象予報士	⑦	家電量販店販売員	⑧	高校教員

■作業２　個人ワーク：その職業に含まれている仕事内容（課業）を課業一覧から選んで○印を付ける。

課業一覧

	文章・原稿執筆		文書作成		文書類の受・発信、管理
	給与・保険等の計算		技術支援		顧客管理
	来客、電話の応対		購買手配計画書の作成		パソコン操作
	データの分析、調査、管理		専門的図面の作成		取引先との交渉
	各種提出資料等の作成		入出金・伝票処理		納品書、請求書発行業務
	情報、資料の収集・整理、管理		取引先の信用調査		設計図の作成
	法手続、行政手続		作業手順書の作成		調査、研究、検査
	関連部署との連携・調整		企画、設計、開発		相談、助言、説明
	教育、研修、訓練		商品説明、解説		マーケティング調査
	新規顧客・取引先開拓		市況や為替相場の情報		契約関係書類作成
	商品管理、陳列、仕訳		イベント・会議等の企画、準備		販売高集計表の作成
	保護者との対応		巡視、点検		自動車などの運転
	在庫チェック		決算資料の作成		情報収集と分析

■作業３　グループワーク：

次にその中でも特に重要、必要と思われる仕事内容をグループで話し合い３つ選び◎印を付ける。

【ワークシート２】

仕事内容（課業）の分析

■作業４　個人ワーク：職業に含まれる重要と思われる課業の３つについて、それぞれ評価する。

職業名	氏　名		
仕事内容（課業）→			
１．この仕事にはどのような内容が多く含まれているか。 （１：少ない、２：あまり多くない、３：普通、４：多い、５：非常に多い）			
①情報を扱う内容	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
②人と関係する内容	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
③モノ（機械・道具・装置）を取り扱う内容	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
２．この仕事に要求される適性能力はどの程度のレベルにあるか。 （１：高くない、２：あまり高くない、３：普通、４：高い、５：非常に高い）			
①知的理解力、判断・応用・推理力	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
②言語的能力（理解・表現力）	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
③数学的能力（計算・数的思考力）	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
④文字・記号の比較力、注意力	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
⑤立体的・構造的な理解力	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
⑥形・図形等の比較力	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
⑦手先の素早さ、機敏さ	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
⑧指先の器用さ（細かな作業）	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5
⑨手腕の器用さ（巧みな道具の扱い）	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5	1-2-3-4-5

Ｂ－１資料③

【ワークシート3】

グループ

仕事内容（課業）のグループ分析

■作業５　グループワーク：各自の課業評価を、一つ一つの課業ごとに、グループ内で集約する。

職業名		課業名					
氏　　名							グループ得点
１．この仕事にはどのような内容が多く含まれているか。							
①情報を扱う内容							
②人と関係する内容							
③モノ（機械・道具・装置）を取り扱う内容							
２．この仕事に要求される適性能力はどの程度のレベルであるか。							
①知的理解力、判断・応用・推理力							
②言語的能力（理解・表現力）							
③数学的能力（計算・数的思考力）							
④文字・記号の比較力、注意力							
⑤立体的・構造的な理解力							
⑥形・図形等の比較力							
⑦手先の素早さ、機敏さ							
⑧指先の器用さ（細かな作業）							
⑨手腕の器用さ（巧みな道具の扱い）							

参考資料

【適性能の解釈（資料出所：厚生労働省編「一般職業適性検査手引き」）】

作業４の適性能力については、職業適性検査によって測定される適性能のことで、以下のような内容である。

適性能	内　　容
知的理解力 （Ｇ）知的能力	・一般的学習能力。説明、教示や諸原理を理解する能力 ・一般的理解力、推理力・判断力・応用力など
言語的能力 （Ｖ）言語能力	・言語の意味及びそれに関連した概念を理解し、それを有効に使いこなす能力 ・言語相互の関係及び文章や句の意味を理解する能力 ・言語的理解力、言語的表現力など
数学的能力 （Ｎ）数理能力	・計算を正確に速く行うとともに、応用問題を推理し、解く能力 ・数的処理能力・計算力、数的推理力・思考力など
文字・記号の比較力、注意力 （Ｑ）書記的知覚	・ことばや印刷物、伝票類を細部まで正しく知覚する能力。文字や数字を直感的に比較弁別し、違いを見つけ、あるいは校正する能力 ・文字や数字に限らず、対象を素早く知覚する能力 ・文字、記号等の比較力、一般的注意力など
立体的・構造的な理解力 （Ｓ）空間判断力	・立体系を理解したり、平面図から立体形を想像したり、考えたりする能力 ・青写真を読んだり、幾何学の問題を解いたりする能力 ・立体的・構造的な理解力、設計図などの理解
形・図形等の比較力 （Ｐ）形態知覚	・実物あるいは図解されたものを細部まで正しく知覚する能力 ・図形を見比べて、その形や陰影、線の太さや長さなどの細かい差異を弁別する能力 ・形、図形等イメージデータの比較力
手先の素早さ、機敏さ （Ｋ）運動共応	・目と手または指を共応させて、迅速かつ正確に作業を遂行する能力 ・目で見ながら手の迅速な運動を正しくコントロールする能力 ・目と手の共応、迅速・正確な動作
指先の器用さ （Ｆ）指先の器用さ	・速く、しかも正確に指を動かし、小さいものを巧みに取り扱う能力 ・細かい物を指先で正確に扱う
手腕の器用さ （Ｍ）手腕の器用さ	・手腕を思うままに巧みに動かす能力 ・物を取り上げたり、置いたり、持ち替えたり、裏返したりするなどの手腕や手首を巧みに動かす能力。